

炭酸ガスはいつでも悪者？

炭酸ガス（二酸化炭素）の削減が、いつも国際政治の問題になっている。しかし、当然のことだが、すべての炭酸ガスの排出が禁止されているわけではない。

ヒトの体には多種類の有機化合物が含まれている。有機化合物は、炭素を中心とした物質だから、ヒトは大量の炭素を抱えている。体重70kgの男性が確保している炭素原子の総重量は16kgで、体重の23%だ（表参照）。生命を維持し、運動をするためには、糖質のような栄養素を食べて、炭酸ガスを出す。「炭酸ガスを削減するために、皆さん運動を止めて、呼吸を我慢しましょう！」なんて、あり得ない。

標準的な体格の男性の身体成分組成

水	45.0 kg
水素（非水部分）	2.0 kg
酸素（非水部分）	2.9 kg
炭素	16.0 kg
窒素	1.8 kg
カルシウム	1.1 kg
リン	0.5 kg
カリウム	140 g
ナトリウム	100 g
塩素	95 g
硫黄	140 g
マグネシウム	19 g
ケイ素	18 g
鉄	4.2 g
フッ素	2.6 g
亜鉛	2.3 g
銅	70 mg
マンガン	10 mg
ヨウ素	10 mg
合計	約69.8 kg

人は、古来酵母と仲良く暮らしている。パンの製造にも、お酒の醸造にも、酵母は欠かせない。しかし、パンをふくらますために、酵母の出す炭酸ガスを利用しているし、ビールやシャンパンの泡はアルコール発酵による炭酸ガスだ。だからといって、「炭酸ガスを削減するために、禁酒運動をやろう」なんて、あり得ない。

炭酸ガスと同じように、牛糞のような農産廃棄物や生ゴミも、地球の環境問題で取り上げられる。これら进行处理する手っ取り早くて、有効な方法は、微生物の力を借りて、堆肥や肥料を作ることである。しかし、これら微生物も、自分を増殖させることが本業だから、空気があるときには炭酸ガスをいっぱい出す。

結局、炭酸ガスをいつも悪者にするわけにはいかない。
